

岩沼市・東松島市・亶理町への「みんなの防災手帳」贈呈式が行われました(2016/6/28)

テーマ：実践的防災学、「生きる力」、「みんなの防災手帳」

URL：<http://ikiru.irates.tohoku.ac.jp/>

災害科学国際研究所では、産学官のプロジェクト推進の1つとして、「生きる力」市民運動化プロジェクトが活動を展開しています。この度、同活動の一環の成果として開発している「みんなの防災手帳」が、24時間テレビ（日本テレビ系列）の宮城県震災復興チャリティー事業として岩沼市、東松島市、亶理町の2市1町の全世帯に配布されます。これまで同チャリティー事業にて、岩手県内33市町村の全世帯に「みんなの防災手帳」がすでに配布されており、はじめて同事業で宮城県内に届けられることとなりました。6月28日（火）に、災害科学国際研究所において「みんなの防災手帳」贈呈式がとりおこなわれ、当研究所の開発メンバーを代表して、今村文彦所長（災害リスク研究部門）、佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）が出席しました。贈呈式には、岩沼市・菊地啓夫市長、東松島市・阿部秀保市長、三戸部貞雄副町長ほか、ミヤギテレビ・伊藤和明代表取締役社長ほか同局関係者、「みんなの防災手帳」を共同開発している東北博報堂の関係者が出席しました。式典では、ミヤギテレビ・伊藤社長からチャリティー事業の趣旨について、菊地市長、阿部市長、三戸部副町長からは感謝のお言葉、今村所長からは「みんなの防災手帳」の特徴と活用方法について話がありました。各市町からは、「『みんなの防災手帳』は、具体的でわかりやすく、家庭や自主防災組織での積極的な利用・活用を進めていきたい」旨の言葉が述べられました。全世帯への配布は順次、今夏中に行われる予定です。

みんなの防災手帳は、今回の配布を含めて全国で663,500世帯に配布されたこととなります（岩手県33市町村、宮城県4市町、埼玉県1市、宮崎県1町）。



贈呈式の様子（左から、岩沼市、東松島市、亶理町）



贈呈式後の記念写真



今村文彦所長による
「みんなの防災手帳」の説明

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）